第３学年　学級活動（人権）学習指導案

１　主　　題　　今　自分にできること
２　主題設定の理由（省略）
３　ねらい
　友達や地域の人たちと関わることで，様々な人の思いや考えを知り，自分や友達のよさを生かし協力して生活していこうとする態度を育てる。
４　指導計画

本主題の中心となる人権学習	主題に関わる教科等・行事
〔第一次〕学級活動 「いいたいこと　あったかな」（ひかり） 【障がい者】【共生】１時間 障がい者に対して特別に接しようとする心の中には差別の意識があることに気付かせ，共に生きていこうとする気持ちや，相手の考えを理解する心が大切であることを理解させる。	○道徳科 「パラリンピックにねがいをこめて」 【障がい者】１時間 障がいの有無に関わらず誰もが住みやすい社会の大切さに気付き，誰に対しても分け隔てなく接しようとする心情を育てる。
〔第二次〕道徳科「アメリカから来たサラちゃん」 【外国人】【共生】１時間 外国の人々や文化を尊重する心をもち，世界の人々と交流していこうとする態度を育てる。	○総合的な学習の時間 「ふるさとじまんをみつけよう ～みんなが住みやすいまちづくり～」
〔第三次〕道徳科「女だから？男だから？」（ひかり） 【女性】【共生】１時間 日常生活に潜む差別・偏見を見抜く力を育て，男女が互いに尊重しつつ，その個性と能力を十分発揮できるようにさせる。	①ユニーバーサルデザインについて考えよう　【共生】２時間 身近なものにあるユニバーサルデザインを知ることで，身の回りにたくさんのユニバーサルデザインがあることを理解させる。
〔第四次〕学級活動 「もっと楽しい学級になるために，学級のルールをつくろう」　【共生】【仲間づくり】１時間（本時） 那賀町のよさや地域の方の思いにふれたことから自分たちの学級をさらによくするために，互いに認め合い，支え合う温かい学級をつくろうとする意欲を高める。	②ユニバーサルデザインを調べよう 【高齢者】【共生】８時間 ユニバーサルデザインの視点から，様々な商品や施設の工夫を探し，よさや特徴を明らかにして理解させる。
〔第五次〕学級活動「ニコトラリボン新聞をつくろう」 【共生】【仲間づくり】２時間 学級新聞づくりを通して，互いに認め合うことのすばらしさに気付き，共に励まし合い，支え合おうとする態度を育てる。	③私たちの町のコマーシャルを作ろう 【ふるさとを大切にする心】８時間 自分たちが学んだことを，分かりやすく丁寧にまとめ，それぞれに関わっている人びとの思いや願いに触れ，ふるさとに対する愛情をもたせる。

5　本時の学習

（1）目　標

那賀町のよさや地域の方の思いにふれたことから自分たちの学級をさらによくするために，互いに認め合い，支え合う温かい学級をつくろうとする意欲を高める。

（2）普遍的な学習のテーマ　　共生　仲間づくり

（3）展　開

学　習　活　動	指　導　上　の　留　意　点（評価）
1　本時のめあてをつかむ。	○　「傷つく友達がいなくなるように」「ちくちく言葉をなくしたい」「もっと仲よくなりたい」などの思いや願いがあったことを確認させ，学習の方向付けをする。
2　今までの学校生活でうれしかったことや困ったことなど，学級がよくなるために，友達に伝えたいことについて発表する。	○　学級やみんなに対する友達の思いや願いをしっかり受け止める。
3　支え合える仲間になるために，学級の一員として，できることを話し合う。	○　学級の一員として，みんなの思いや願いを実現するために自分にできることは何かを考えさせる。 ・　総合的な学習の時間に，地域のみんなが住みやすいための工夫や視点，学習してきたことを思い出させ，そのよさを学級に生かすことができるよう言葉がけをする。 ・　友達の思いや願いを振り返り，那賀町のよさや地域の方の思いから相手の立場に立って考えることの大切さに気付かせる。（発言）②
4　本時の学習を振り返る。	○　これからの生活の中で，支え合う学級をつくるために自分から行動していこうとする意欲を高める。 （ワークシート・発言）①

（4）評　価

・仲間を大切にし，互いに認め合い支え合っていこうとする意欲が高まったか。

【価値的・態度的側面】①

・自分たちの力で温かい学級をつくるために，友達の意見を聞き，自分の考えを発表することができたか。　【技能的側面】②